



危機管理課
堀嶋康平

日頃からの「備え」が大切
災害対応に携わる立場から伝えたいのは、災害発生直後は行政の支援がすぐに行き届くとは限らないという点です。その間、自分や家族の命と生活を守るのが日頃からの備蓄です。最低でも3日分、可能であれば1週間分の水や食料に加え、携帯トイレや電源の確保も重要になります(4頁)。大切なペットの避難についても考えておきましょう(5頁)。日常の延長として備えを進めておくことが、冷静な行動と早期の生活再建につながります。平時の今こそ、ぜひ備蓄の見直しをお願いします。

地震発生時の行動

備え
4

発災後10分間の行動を確認しよう

安全対策

備え
3

家の中を点検しよう

発災直後

転倒する可能性のある家具から離れ、姿勢を低く保って頭を守り、じっとする一連の行動「シェイクアウト」をする



1～5分後

火の元と家族の安全を確認。避難口を確保する。出火した場合は落ち着いて初期消火をする

5～10分後

周囲の安全を確認。ガスは元栓を閉め、ブレーカーも落とす。家屋倒壊の恐れがある場合は避難所へ避難。自宅が安全な場合は在宅避難。市防災ホームページや災害情報X、防災ラジオなどから正しい情報を収集する



家具類の転倒や落下物は、命にかかわる大けがにつながる場合や、避難の妨げにもなります。家の中を点検し、安全対策をしましょう。

- 家具の固定や転倒防止安定板の設置をする
- 出入り口や通路、家具の上に物を置かない
- 寝室や子ども・高齢者・障がい者のいる部屋の家具を最小限にする
- 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る
- 懐中電灯を分かりやすい場所に置く
- 通電火災防止のため感震ブレーカーを設置する



感震ブレーカーを設置しよう

地震による火災の過半数は停電からの復旧時の通電が原因によるものです。国の調査では、感震ブレーカーの設置率が100%になると、火災による犠牲が70%減るとされています。設置して備えましょう。

避難先

備え
1

複数の避難先を考えよう

建物の倒壊などで道路が使えない状況を想定し、複数の避難先を考えましょう。市の避難所だけでなく、自宅が安全な場合は「在宅避難」、親戚・知人宅への「縁故避難」なども選択肢です。市内の避難所は居住地にかかわらず利用できます。避難所の開設状況は市防災ホームページなどでお知らせします。



市防災
ホームページ

デジタル防災訓練

備え
2

LINEで災害時の対応を確認しよう

LINE「海老名市」で5分程度の防災訓練ができます。メニューの「防災」から「デジタル防災訓練【地震】」または【風水害】を選択して参加し、身の安全を確保する方法、避難先、避難時の注意点などを確認しましょう。



LINE
「海老名市」



石川県能登町で撮影

大人も子どももペットも 地震に備えよう

地震

圏危機管理課 ☎046(235)4790

令和6年の能登半島地震、昨年12月の青森県東方沖の地震、ことし1月の島根県東部の地震など、各地で大きな地震が相次いで発生しています。備え、の重要性も高まっています。6つの備えを確認しましょう。

命を守る6つの備え

あなたの備えを確認しましょう!



危機管理課
高橋瑠華

- 1 避難先**
複数の避難先を考えよう
- 2 デジタル防災訓練**
LINEで災害時の対応を確認しよう
- 3 安全対策**
家の中を点検しよう
- 4 地震発生時の行動**
発災後10分間の行動を確認しよう
- 5 非常持ち出し品・備蓄品**
最低3日分の備蓄をしよう
- 6 ペットとの避難対策**
大切な家族を守ろう